

茨城新聞

6月8日

水曜日

茨城新聞社

(16)

地域

A版

第三種郵便物認可

五月

五月

県南県西

防犯活動で協定

古河署と 学校法人 学生、青パト使い巡回

古河警察署（田中忠義署長）と学校法人晃陽学園・学校法人盈科学園（古河市・齋藤行信理事長）は、「防犯活動に関する協定」を取

り交わした。同署で田中署長と齋藤理事長が協定書に署名し、連携と協力を誓った。

両者は相互協力しながら防犯活動を通して、市民の防犯意識の高揚と自主的な防犯活動を促す。地域社会の安全・安心・安定の実現と社会の安全に貢献できる

防犯活動に関する協定を交わした田中忠義署長（右）と齋藤行信理事長＝古河警察署



人材も育成する。

晃陽看護栄養専門学校の救急救命学科と日本生物資源危機管理専門学校（危機管理学科）の学生40人は、本年度から青色回転灯を装備した巡回車で古河市内を週1回、同署の協力も得て、自主防犯パトロールを始めた。学生らはパトロール後に報告書を提出している。

学生は目撃した犯罪や行方不明の認知症高齢者発見の際に、警察に引き継ぐまでの保護や救護活動に協力する。協定期間は3年間で、通告がなければ自動更新される。

「学生たちが警察や市民との連携を通じ社会の一員であることを実感し、有事の際に対応できる若者を育てたい」と齋藤理事長。

田中署長は「治安を守るには若い方の力が必要になる。今後も連携を強め、市民の安心・安全のために協力をお願いしたい」と話した。